



第11回 男山地域まちづくり連携協定 年次報告会

令和7年2月13日

男山地域まちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山

を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成23年 9月 関西大学団地再編プロジェクト（文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業）開始

平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年10月 男山地域まちづくり連携協定の締結（無期限）⇒ 調査・検討・提案・実践・検証 ⇒

平成28年 3月 文科省補助事業終了

平成26年11月 - 令和7年2月 第11回年次報告会

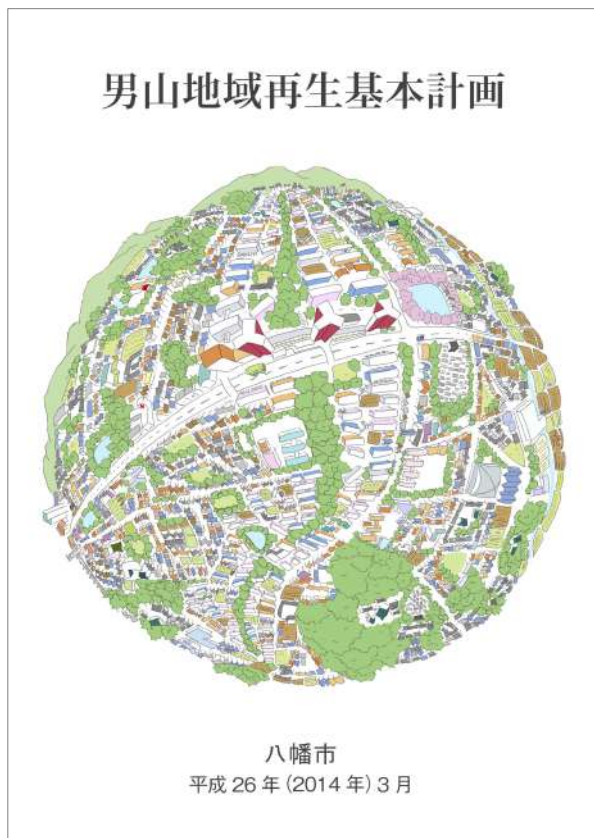
男山地域まちづくり連携協定の目的

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

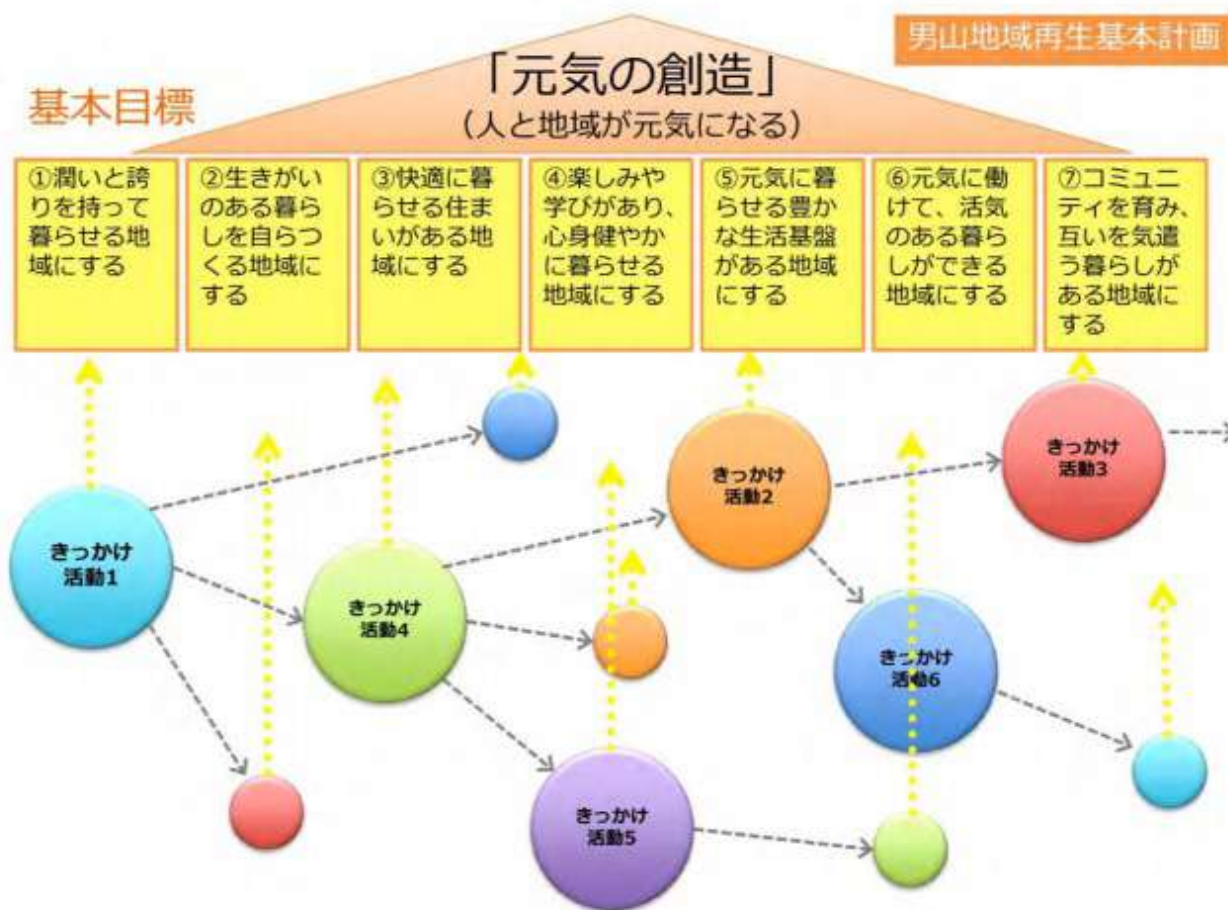
男山の将来目標

地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



現在、連携・協力事項により、具体的な取り組みである
様々な「きっかけ活動」が始まり展開している。

子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスの運営

開設以来、必ず誰かが訪れる地域子育て施設

新型コロナに負けず、元気に活動中！

2018年京都府子育て支援表彰受賞！

保育士やボランティアと一緒に楽しみながら子育てを楽しむ場所として運営しています。

感染予防対策をしっかりと、子どもやママにとってかけがえのない場所となるよう元気に活動中。

開設：平成26年12月1日～

場所：男山団地A地区集会所内

運営：おひさまテラスの会（地域ボランティア）

時間：月・火・金・土(第2・4)午前10時～午後4時

対象：0歳～就学前のこどもとその親

利用親子組数（令和5年度実績）：約5組/日

（延べ836人）

<参考>令和6年度実績：約6組/日

（延べ839人）

※令和6年12月末時点



ダンチ de コソダテ の取組み

☆ママたちもリフレッシュ！

おひさまテラスでは子供たちだけでなく、ママさん向けのイベントも開催しております。写真はピラティス教室の風景です。ママたちにとっても癒しとなる集いの場になることを心掛けています。



☆外国人のお友達も増えています

おひさまテラスの様子を見て、「わー遊んでいい？」って遊びに来てくれました。日本語を教えたり、アラビア語を教えてもらったり…たくさんの国の方が来てくれています。



地域包括ケアの確立

- (2)多世代が根を張るまちづくりとして、 高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した 「地域包括ケア」 の確立
- (3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、 地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

八幡市地域包括ケア複合施設YMBT

地域密着型特別養護老人ホーム 定員 29名

高齢者あんしんサポートハウス 定員 20名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

多目的ホール

UR男山団地内において
平成27年11月1日 地域包括ケア複合施設YMBT 開設

地域包括ケア複合施設 YMB T の役割①

多様な高齢者のニーズに対応できる施設

- ・地域での生活を24時間体制で支援(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ・低所得者向けの高齢者居住施設(あんしんサポートハウス)
- ・地域の重度要介護者が生活する施設(地域密着型特別養護老人ホーム)



折り紙教室



実習生との交流

地域包括ケア複合施設 YMB T の役割②

元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保

・多目的ホールの活用



毎朝のラジオ体操



出前講座、地域の催し等



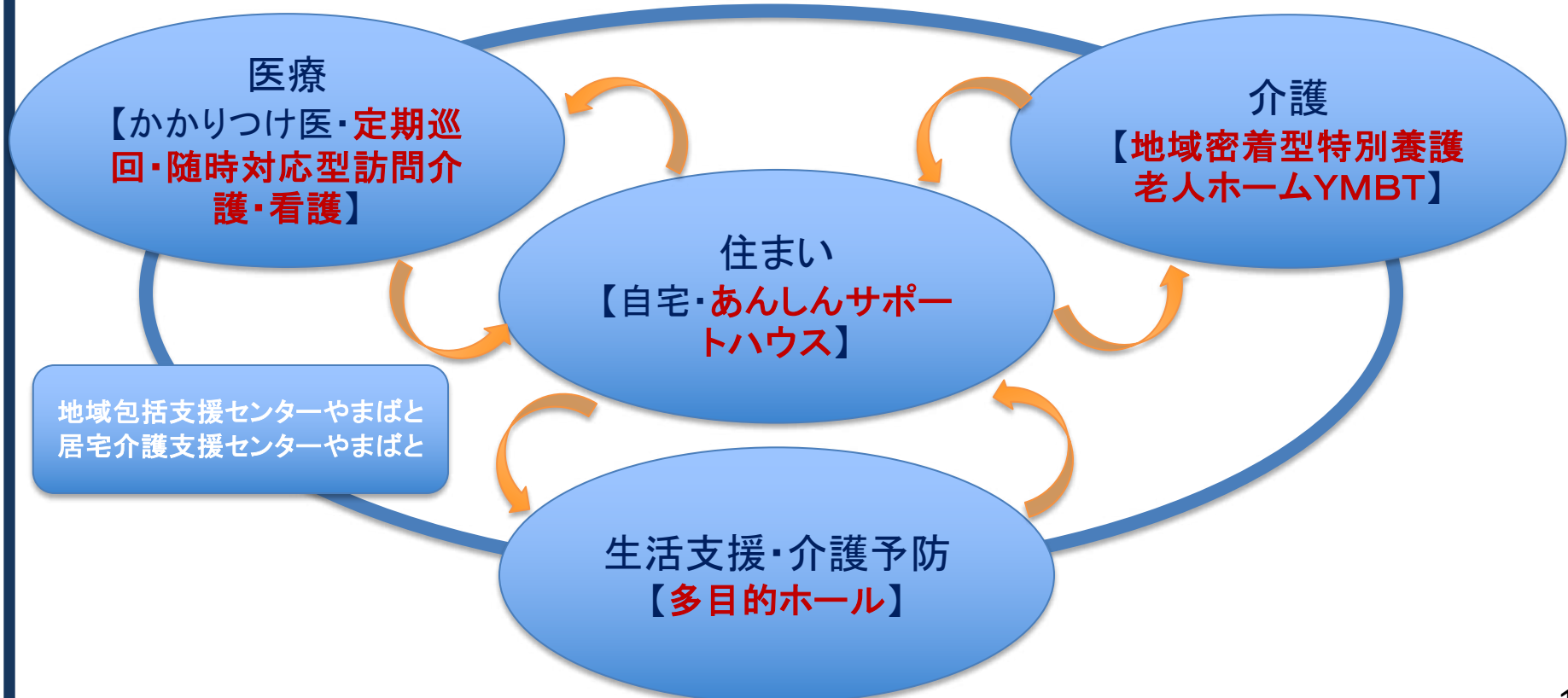
介護予防への取り組み

地域包括ケア複合施設 YMBT の役割③

地域包括ケア推進拠点

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に提供

地域包括ケア



地域医療福祉拠点化の取組み

URの地域医療福祉拠点化の取組みは、住環境の整備や、地方公共団体、医療・介護等を担う関係団体等との連携を図ることにより、暮らしやすい団地・地域の形成、団地で最後まで住み続けられる環境整備を目指すものです。拠点化の進め方に決まった形はありません。地方公共団体、自治会等の地域関係者と連携・協力しながら、地域の状況に応じて、様々な要素の中から必要なものを組み合わせて、住宅・施設・サービス等の整備を推進していきます。

男山団地では、連携協定に基づき様々な整備が進められている中、ここでは、「健康寿命サポート住宅の供給」「生活支援アドバイザーの配置」について紹介します。



地域医療福祉拠点化の取組み

2 健康寿命サポート住宅の供給

手すりや浴室暖房を設置する等、高齢者の方の住戸内の安全・安心に配慮した「健康寿命サポート住宅」への改修をすすめています。平成28年度からこれまでに153戸供給しております。（R6.12月末時点）



- ・ 人感センサー付照明
- ・ 手すりの設置 など



- ・ またぎ高さを低く設定
- ・ 浴室暖房の設置 など



- ・ 段差の軽減
- ・ 多機能便座への変更 など

地域医療福祉拠点化の取組み

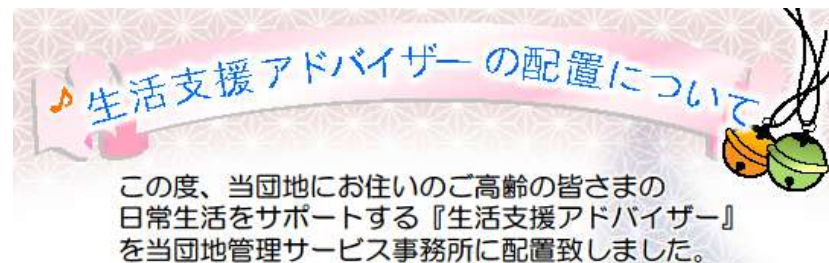
3 生活支援アドバイザーの配置

高齢者の方が安心して暮らし続けられるよう、各種相談対応や電話によるあんしんコール、交流促進のためのイベント等を実施しています。



R6.10月実施 かななフラワー作り

周知案内の事例



- 配置場所 管理サービス事務所
- 営業日時 月・火・木～土曜日:9時30分～17時 (12～13時は昼休み)
※ 水・日曜、祝日、年末年始 (12月29日～1月3日) は定休日
- 電話番号 078-583-1078 (生活支援アドバイザー専用番号)

◎ 主なサービス内容

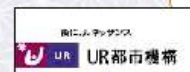
- ① ご高齢者の日常生活にかかわる相談受付
※ 管理サービス事務所に相談ブースを設置しております。
- ② URの高齢者向け制度のご案内
- ③ 公的機関等の高齢者向け施策に関するご案内
- ④ 定期的な安否確認(「あんしんコール」〔登録制〕)

※ これらのサービスは、**原則60歳以上**のご高齢者の方を対象にさせていただきます。

生活支援アドバイザー紹介

名 前 :

皆様のお役に立ちますよう一生懸命業務に取り組んで参りますので、宜しくお願い致します。



談活（地域福祉実践交流）とは

絆ネットワーク構築支援事業（平成26年～令和4年）

【目的】

地域の高齢者、障がい者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、複数機関の連携による支援や公民協働での支援など、地域の様々な主体による取組を横断的に調整・推進し地域全体での新たな見守り活動を展開、地域福祉の再構築を目指す。

※これまで実施してきた男山地域での実績を踏まえ、八幡市全域に取組を拡大。

【実施主体】

八幡市社会福祉協議会

取組み内容

- 住民による見守り・支え合い活動の推進
- 絆ネット地域懇談会の開催

談活（地域福祉実践交流）とは

第3次八幡市地域福祉推進計画

第3次八幡市地域福祉推進計画

（成年後見制度利用促進基本計画を包含する）

地域福祉計画

八幡市



地域福祉活動計画

八幡市社会福祉協議会

計画期間：
令和5年度
～令和9年度
の5年間

基本
理念

手と手がつながり 広がる輪
みんなでつくる おもいやりのまち

3つの
基本目標

1

人権意識と福祉のこころを育て、みんなで活躍できる地域をつくる

2

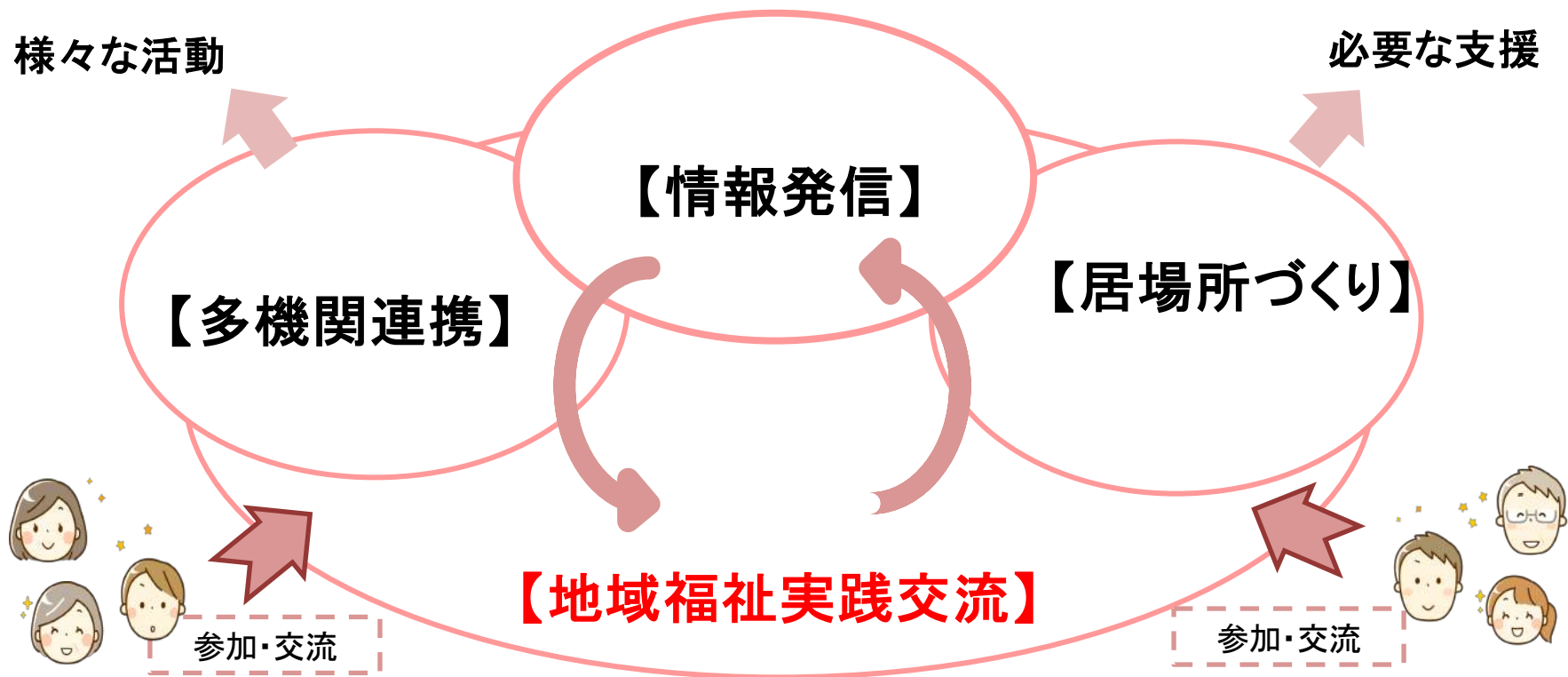
互いに助け合いながら
“安全”に“安心”して暮らせる仕組みを充実させる

3

優しさがみんなで分かち合える体制を構築する

談活（地域福祉実践交流）とは

3つの基本目標をリボンのように束ねるのが、重点プロジェクトである「**談活プロジェクト**」



多様な担い手がつながるプラットフォームの展開

談活（地域福祉実践交流）とは

- 談活（地域福祉実践交流）では、地域活動者や団体、関係機関が地域の現状と課題について共通の認識を持つことのできる場を目指す。
- そのため、これまで取り組んできた絆ネットワーク構築支援事業の取組を「談活」として広げる・深める。

絆ネットは談活（地域福祉実践交流）へ

男山地域から全市域のネットワークへ

談活（地域福祉実践交流）とは

【日時】令和7年1月19日（日） 13時30分～16時

【場所】八幡市文化センター 小ホール

【対象】地域活動団体に所属されている方、ボランティア団体に所属されている方、
専門職・関係機関、企業（八幡市あんしんネットワーク加盟団体他）

【内容】地域共生社会に向けて～対話で活動とつながりを広げる～

◆主な意見◆

- ・他の団体の活動について、話を聞くことができ、自分の地域でも実践してみたいと感じた
- ・日頃気になっていることを共有できてよかった



大学・学生とともにのばす京都 プロジェクト共同事業

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

大学・学生とともにのばす京都プロジェクト 共同事業による支援

● 趣旨

大学、行政の連携により「大学・学生のまち京都」の魅力の充実・強化を図るため、学生、教員、研究者の知と力を活かし、京都府が大学及び短期大学や学生と協働して府政課題の解決に取り組むプロジェクトについて、京都府と大学等との共同事業として実施

● 令和6年度 府内全体での取組

採択事業：23大学 52事業を採択・支援

● 関西大学×八幡市（男山地域）への支援

平成28年度から支援

※ 1まち1キャンパス事業（平成28年-令和元年度）／人・まち・キャンパス事業（令和2年-3年度）
きょうと府内定着等推進事業（令和4年度）／学生とともにのばす京都プロジェクト共同事業（令和5年度）

<支援内容>

大学・学生の活動環境面（賃金/報償費/旅費/備品購入費等）をサポート

だんだんテラスの取組み

- (3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4)住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

365日気軽に集まれるだんだんテラス

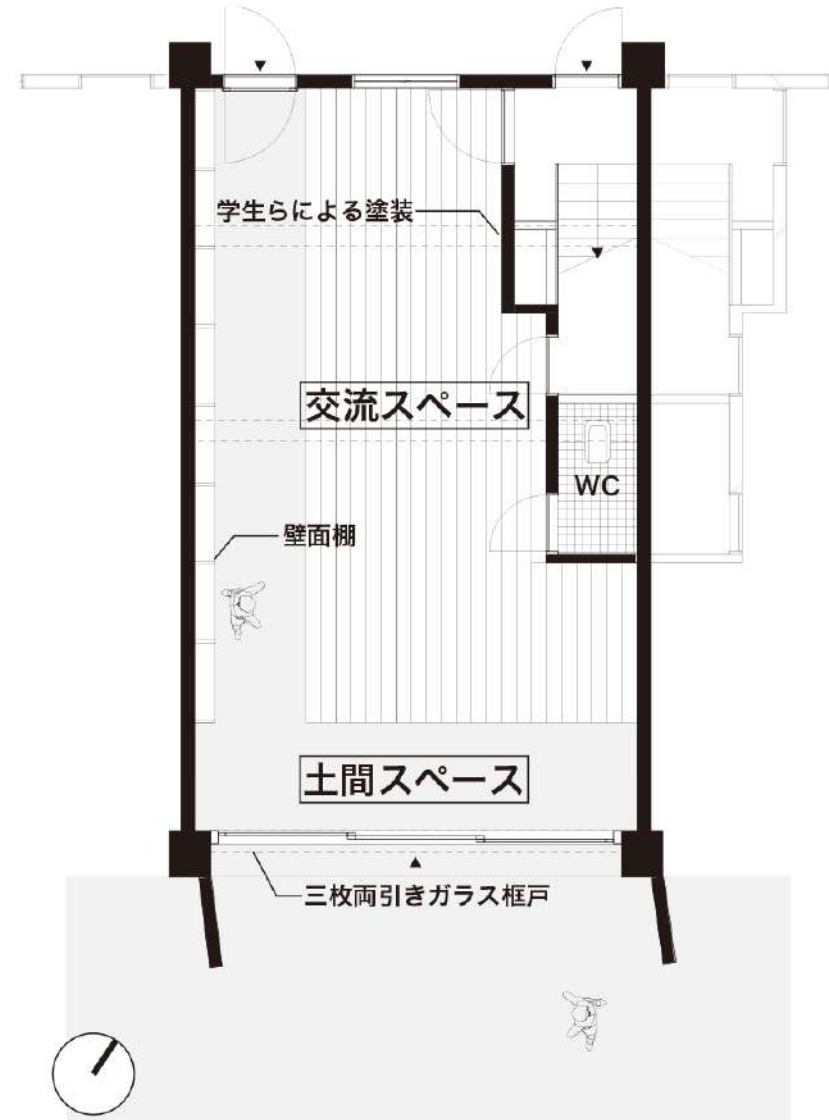


開設日：平成25年11月16日～

運営：だんだんテラスの会

主に大学院生が常駐

時間：年中無休（10時-18時）



住民と学生が協働で継続した運営をめざす

関わりつづけるをテーマとしたまちづくりの実践

だんだんテラス 平成25年開設



だんだんラボ 平成30年開設、令和6年移転集約



2つの地域拠点を中心に実践的な活動を展開

H25～これまで、男山地域内に3つの地域拠点を開設し、地域住民と交流を図りながら、ソフト・ハードの両面から団地、地域再生の実践活動を展開。
大学、UR、八幡市、住民、大学OB・OGも継続的に関わり運営を行う。

交流・情報交換・活動の場

毎朝10時からのラジオ体操



だんだんカフェの会



だんだん朝市



だんだんテラスの日常



八幡支援学校との連携した取り組み

だんだん朝市での販売お手伝い



ドリンクサービス・作業実演



だんだん句会との授業交流



普通科、福祉総合科と連携した授業を実施

普通科は、ドリンクサービス、作業実演に加えて、だんだん朝市での販売お手伝いを実施。

福祉総合科は、だんだん句会と連携した授業交流「俳句に親しもう」を実施。

まちづくり運動体やってみよう会議の開催



男山やってみよう会議

○毎月第3土曜日開催

自発的・自立的に

男山地域のまちづくりに
関わりたい市民を公募。

○開催の狙い

日常の場（だんだんテラス）

非日常の場（やってみよう）

2つのプラットフォーム
で住民活動を支援する。

SDGsについて考えるワークショップの実施



古着を活用したワークショップ 「古着で何つくろ！」を実施

NP0法人こどもアート企画mottoと連携し、地域住民から集めた古着や、工場の製造過程で出るボタンやリボンなどの廃材を使ってバッグを製作するワークショップを実施。

同時にだんだん手作り市も実施。

地域で支える子育て環境づくりの取り組み



こども食堂とみんなの食堂の実施

男山中央センター商店街にある喫茶店「ピーパル」と連携し、夏休みには「こども食堂」を実施。

冬休みには、こどもも大人ももっと気軽に立ち寄れるよう、弁当を配布する形式で「みんなの食堂」を実施。

団地内屋外空間の居場所づくり



緑道の活用に向けた提案と実践

男山地域の南北2キロにわたる緑道を活用するために、擁壁を生かして設置できるベンチのプロトタイプを製作。
住民にヒアリングしながら実際に設置し、使いながら緑道の活用提案を考える。

男山団地の住まい方調査



居住者へ訪問ヒアリング調査を実施

団地での暮らしの工夫を明らかにすることを目的に、長年住み続けている居住者や子育て世帯の居住者らを対象に住まい方調査を実施。

地域住民と四者連携協議会が協働した 取り組み

- (3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4)住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

不用品回収支援社会実験の取り組み



家庭系粗大ゴミ回収支援実験の実施

男山団地B地区北側エリアを対象に実施。B地区自治会に申し込み用紙の配布、階段室のポスターの掲示をしてもらい、関西大学体育会サッカー部、建築学科の学生らによって28世帯81品の家庭系粗大ゴミの回収を行なった。

「モルック」を通じたコミュニティ形成の取り組み

前回比約+20名

参加者60名
以上

【きっかけ】

- 集会所の大規模リニューアルを実施(カウンターキッチンなど)
・・・しかし、集会所の利用率は低迷
- 集会所の利用促進をねらい、老若男女問わず楽しめるスポーツ「モルック」と「食」をからめたイベントを企画・実施
- 40名**以上が来場し、イベントは盛況に終わった。
「モルックをまたプレイしたい」とのお声を多数いただいた。

【目的】

- 同集会所にて、モルックイベントを再度企画(雨天中止)
- 中止も告知を見た地域住民から好意的な反応を得た
⇒「モルック」を核としたコミュニティ形成イベントの継続を検討
- 男山団地を南北縦断する形で継続実施し、
エリア全体で「モルック」の認知度を向上させる
⇒「またモルックをやりたい」という**ファンを獲得**
⇒そんなファンたちが、**モルックサークルを組織し、
地域に新たなコミュニティを発生**させることが目的

【今後の展望】

3/9(日) 10時～ 男山団地B地区集会所ヨコ広場にて
B地区自治会・八幡市健康福祉部 等の協力を得て、
「モルック」×「食」×「健康」をテーマとしたイベントを開催予定。
サークル起ち上げを明確に提案し、用具の寄贈など伴走支援をしていく。

男山では4回目となる
モルックイベント企画
(雨天中止の1回を含む)

「モルック」を通じたコミュニティ形成の取り組み



モルックイベントと同時に
「だんだん手作り市」も開催

9月に男山団地C地区Eラウンジ前で行なったモルックイベントと同時にだんだん手作り市も開催。

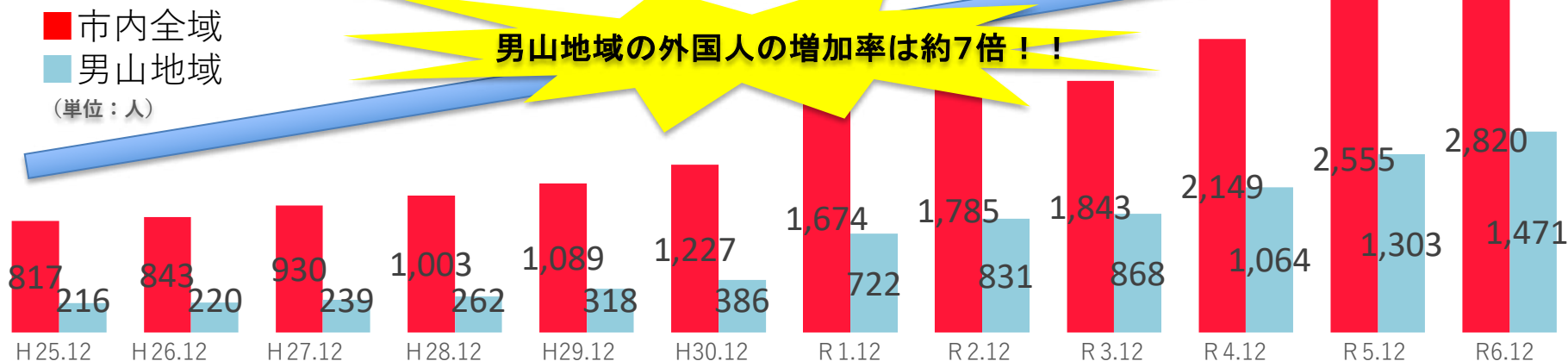
外国人住民との共生について

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立



八幡市における外国人住民の現状

外国人住民の推移（連携協定締結以降）



外国人住民の増加率（H30.12→R5.12）

地方公共団体の人口に占める外国人人口の割合（上位20市区町村）

○人口に占める外国人割合上位20市区町村

順位	都道府県	自治体名	全人口 (2024.1.1) (A)	外国人人口 (2023.12.31) (B)	外国人割合 (B/A)
1	北海道	勇払郡占冠村	1,591	569	35.76%
2	北海道	余市郡赤井川村	1,353	374	27.64%
3	群馬県	邑楽郡大泉町	41,465	8,640	20.84%
4	北海道	虻田郡留寿都村	2,036	392	19.25%
5	北海道	虻田郡倶知安町	16,505	2,867	17.37%
6	北海道	虻田郡二セコ町	5,481	939	17.13%
7	長野県	南佐久郡川上村	3,741	557	14.89%
8	長野県	北安曇郡白馬村	9,159	1,229	13.42%
9	東京都	新宿区	349,226	44,847	12.84%
10	長野県	南佐久郡南牧村	3,017	384	12.73%
11	東京都	豊島区	291,650	33,282	11.41%
12	埼玉県	蕨市	75,646	8,620	11.40%
13	沖縄県	国頭郡恩納村	11,262	1,264	11.22%
14	茨城県	常総市	61,180	6,801	11.12%
15	岐阜県	美濃加茂市	57,540	6,188	10.75%
16	三重県	桑名郡木曽町	5,939	638	10.74%
17	東京都	荒川区	219,268	21,587	9.85%
18	長野県	下高井郡野沢温泉村	3,524	342	9.70%
19	愛知県	海部郡飛島村	4,711	454	9.64%
20	愛知県	高浜市	49,249	4,606	9.35%

○外国人人口増加率上位20市区町村(2018年→2023年)

順位	都道府県	自治体名	外国人人口 (2018.12.31) (A)	外国人人口 (2023.12.31) (B)	外国人増加率 (B/A-1)
1	熊本県	菊陽町	395	1,012	156.20%
2	北海道	苫小牧市	613	1,408	129.69%
3	熊本県	菊池市	546	1,237	126.56%
4	大阪府	富田林市	1,234	2,676	116.86%
5	京都府	八幡市	1,241	2,605	109.91%
6	京都府	木津川市	593	1,186	100.00%
7	大阪府	貝塚市	834	1,634	95.92%
8	鹿児島県	鹿屋市	571	1,110	94.40%
9	静岡県	熱海市	529	1,022	93.19%
10	岩手県	北上市	645	1,204	86.67%
11	栃木県	日光市	931	1,710	83.67%
12	群馬県	邑楽町	684	1,235	80.56%
13	兵庫県	たつの市	562	1,011	79.89%
14	福岡県	田川市	570	1,009	77.02%
15	滋賀県	野洲市	609	1,063	74.55%
16	鹿児島県	霧島市	653	1,139	74.43%
17	大分県	中津市	1,404	2,438	73.65%
18	京都府	久御山町	584	1,014	73.63%
19	愛知県	津島市	1,383	2,395	73.17%
20	香川県	観音寺市	763	1,321	73.13%

八幡市総人口 **68,598人**

八幡市の外国人住民 **2,820人**

男山地域の外国人住民 **1,471人**

- 市内企業の特定技能や技能実習生の受入れ等により、外国人人口が年々増加（総人口の約4.1%）。
- 外国人人口の5年間の増加率が**全国第5位！**

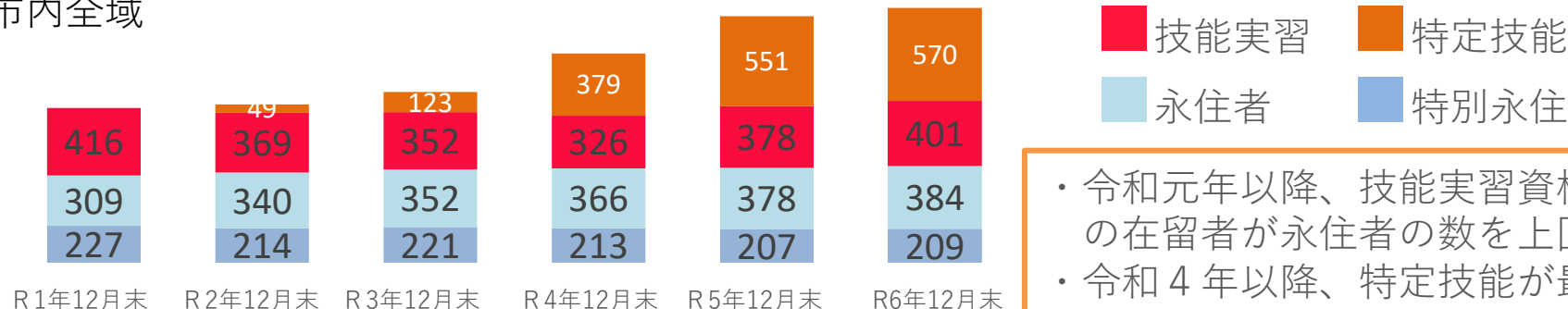
※全人口は住民基本台帳、外国人人口は在留外国人統計に基づくもの。

※外国人人口増加率については、在留外国人統計で2023年12月末時点において外国人人口1,000人以上の市区町村を対象としている。

八幡市における外国人住民の現状

外国人住民の在留資格別の推移（上位3資格）（単位：人）

市内全域



外国人住民の国籍別人数（上位5カ国）（単位：人）※令和6年12月末時点

市内全域

国 籍	人 数
1. ベトナム	1,088
2. 中国	327
3. 韓国	225
4. インドネシア	198
5. スリランカ	160
八幡市の外国人住民の総数	2,820

男山地域

国 籍	人 数
1. ベトナム	879
2. インドネシア	140
3. 中国	62
4. 韓国	57
5. ブラジル	54
男山地域の外国人住民の総数	1,471



・ 男山地域には、ベトナム人をはじめ、様々な国籍や在留資格の外国人が居住

生活オリエンテーション・交流会の実施

- ・ 来日して間もない外国人住民は、知らない場所での不安な生活に加え、言語・文化の違いに起因するトラブルに巻き込まれやすい。
- ・ それらのトラブルは、意図して起こしているものではなく、単に知らないだけというケースがほとんどである。
- ・ 外国人住民にまず日本での生活ルールを学んでいただき、外国人住民と地域住民が安心して日常生活を送ることができる環境づくりが必要。

外国人受入企業・警察等との連携による生活オリエンテーションの実施

<生活オリエンテーション>

生活ルール（集合住宅での過ごし方）
ごみの捨て方
災害の種類・防災情報の取得方法
自転車での交通ルール 等

<交流会>

日本文化の紹介・体験
地域住民との交流 等

<協力体制>

八幡市 京都府警察 UR
だんだんテラス 受入企業
監理団体 地域住民 ほか

生活ルールや
防災情報の説明



交流会
(日本文化の体験等)



くらしのそうだん事例集の作成

生活相談の背景

外国人

- ・当人に悪気はなく、日本の文化やルールを知らないだけ
- ・言葉が通じないため、自分の言い分などを説明できない



日本人

- ・外国人に慣れないため、不安を感じている
- ・言葉が通じず、相手のことを知らないため直接話さない

事例集の構成

- ・内 容：外国人受入企業等から事例をいただき、「よくある相談事例」としてとりまとめ。
外国人と日本人の心情や、解決方法等をあわせて掲載。
- ・コラム：日本に住む外国人に知っておいてほしいくらしの情報を掲載。（自治会と回覧板、災害と避難所等）
- ・翻 訳：外国人受入企業等にご協力いただき、やさしい日本語の他、英語、ベトナム語、ポルトガル語版を作成。



事例集作成の目的

- ・よくある相談事例と解決方法をまとめ、地域での共生実現の一助とする
- ・住民がお互いのことを知るためのきっかけづくり
- ・連携協議会と外国人受入企業等との協働による地域課題への取組

外国人防災リーダー養成・避難訓練

<実施日>

令和6年12月17日

<場所>

株式会社鶴見製作所京都工場

<連携体制>

株式会社鶴見製作所京都工場（外国人51名）、JICA関西、八幡市

<内容>

- ・ R5に養成した外国人防災リーダーを対象に、R5研修内容の振り返りを実施。
- ・ 外国人防災リーダー及び新人外国人社員に、八幡市で起こり得る災害や多言語での災害情報の取得方法について研修を実施。
- ・ 外国人防災リーダーによる新人外国人社員への一時集合場所等についての研修を実施。
- ・ 八幡市消防本部による通報連絡訓練・救護訓練を実施。

研修の様子



通報連絡訓練の様子



救護訓練の様子



関西大学外国語学部高橋秀彰ゼミとの取組

- ・多文化共生に向け、双方の言語・文化の理解を深めることを目的としたイベントを実施。
- ・令和6年度は、前年度に実施したイベントに基づき、神社へお参りする際の作法等の英語によるクイズや英語学習のポイントをまとめたリーフレットの作成及び、石清水八幡宮やその周辺を巡りながら、英語で謎解きに挑戦するイベントを実施。

リーフレットの作成

・令和5年度に実施した「Have fun in 八幡はちまんさん！」で実施した、英語による神社へのお参り作法についてのクイズを掲載。

・英語学習におけるポイントや、他国の英語学習の現状などについて掲載。



令和5年11月25日のイベントの様子



英会話×リアル謎解き 八幡に眠る謎



令和7年1月26日

- ・外国語学部の学生が作成した謎解きに挑戦
- ・グループに分かれ、神社等を巡りながら謎解き
- ・留学生や学生と英語で交流しながらゴールを目指す

日本語指導ボランティアスキルアップ講座の開催

- ・外国人住民が地域で安心して日常生活を送るためには、外国人住民の日本語学習機会を確保することが重要。
- ・地域ボランティアによる「地域にほんご教室」での活動をより充実したものとするため、令和3年度はボランティア養成講座、令和4～6年度は支援者に対するスキルアップ講座を開催。

＜日 時＞①令和6年7月20日、②令和6年10月5日、③令和7年1月11日
＜場 所＞八幡市松花堂・庭園美術館 講習室
＜講 師＞京都にほんごRings
＜内 容＞①みんなの日本語初級Ⅰを活用した基礎的な教え方
②「日本語の教え方ABC」を活用したつまずきポイント
③「日本語教育支援の1・2・3」～基礎知識を学ぼう～
＜受講者＞①22名、②23名、③17名
＜体 制＞地域にほんご教室、京都にほんごRings、京都府国際課、
京都府国際センター

第1回講座の様子



第2回講座の様子



第3回講座の様子



地域住民との交流イベント

・ 地域における相互理解の促進を図るため、日本人住民及び外国人住民の双方が親しみやすい「文化」、「スポーツ」、「食」を切り口とした交流イベントを実施。

やわたわーんど写真展

テーマ	ふるさと
日時	令和6年10月26日
場所	八幡市民文化祭屋外部門
応募数	62作品（日本人31作品、外国人31作品）
来場者	300名

やわたすぽーつまるしえ

日時	令和6年11月16日
場所	旧八幡第四小学校
参加者数	77人（日本人44人、外国人33人）
すぽーつ	①大玉転がし②ドッジビー③障害物競争
外国料理	ベトナム料理店、インド・ネパール料理店、洋風惣菜店

当日の様子



摂南大学との取組について

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

摂南大学と八幡市が包括連携協定を締結

令和5年3月31日に包括連携協定を締結

連携・協力事項

- ・ 農業振興及び食、健康・医療などに係る地域産業振興・新産業創出
- ・ 地域の政策課題に係る共同研究の推進
- ・ 大学教育及び地域教育の向上
- ・ 生涯学習の推進
- ・ 人材の育成・交流
- ・ 地域の活性化に係る各種活動への教職員、学生の参画促進
- ・ その他、目的を達成するために必要と認める事項



フィールド型アクティブ・ラーニング（FAL）

FALとは

摂南大学現代社会学部による、企業や自治体などと共有された目標の達成に向け協働する実践志向のプログラム。

今年度、男山地域では下記のテーマで実施。

テーマ

アフターコロナ時代の自治会活動継続のために

担当教員

現代社会学部 小池高史先生 藤井和佐先生

男山団地
A地区自治会
B地区自治会



摂南大学
現代社会学部

男山団地B地区自治会 団地祭り(夏祭り)

- ・ 男山団地B地区自治会の団地祭り（夏祭り）に、
摂南大学現代社会学部の学生10名が参加。

開催日：令和6年8月24日（土）

場 所：男山団地B地区集会所
集会所よこの広場

連 携：男山団地B地区自治会
摂南大学 現代社会学部
八幡市

- 祭りの企画段階から参加し、学生も企画を提案。
- 当日は会場の準備や、本番の運営サポートを実施。
- 学生企画「うちわ作り」は、用意した50枚が全てなくなる好評ぶり。



学生企画・運営ブース



うちわ作りワークショップ



祭りの準備も一緒に行いました

男山団地A地区自治会 秋祭り

- ・ 男山団地A地区自治会の秋祭りに、
摂南大学現代社会学部の学生10名が参加。

開催日：令和6年10月13日（日）

場 所：男山団地A地区集会所
集会所よこの広場

連 携：男山団地A地区自治会
摂南大学 現代社会学部
八幡市社会福祉協議会 八幡市

- 祭りの企画段階から参加し企画を立案したほか、ポスターを作成。
- 当日は会場の準備や、本番の運営サポートを実施。
- 学生企画「クラフトコーナー」では、竹カスタネット、コマ作り等を実施。



学生企画・運営ブース



オリジナル竹カスタネットづくり



祭りの運営も一緒に行いました

男山地域の情報発信

■ だんだんテラス facebook おひさまテラス facebook

■ 八幡市役所

<http://www.city.yawata.kyoto.jp/category/1-23-0-0-0.html>

■ UR男山団地（特設サイト）

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

■ UR男山団地（住宅情報）

https://www.ur-net.go.jp/chintai/kansai/kyoto/80_1840.html

■ 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/ksdp/index.html>